

はじめに	1
I. 欧米の学校における暴力の状況	5
1. 青少年暴力犯罪	5
1-1 青少年による暴力犯罪の増加	5
1-2 被害者も青少年である	6
1-3 青少年暴力犯罪が急増した要因	6
2. 米国における学校暴力事件とその対応	7
2-1 米国における最近の事件	8
2-2 学校暴力犯罪対策とその実態	9
2-2-1 ゼロトレランスポリシー	9
2-2-2 制服着用	9
2-2-3 セキュリティ対策	9
2-2-4 スクールポリスの常駐	10
2-2-5 暴力防止または削減プログラム	10
2-2-6 学内でのけん銃事故防止	10
3. 英国における学校暴力事件とその対応	10
3-1 規律の改善	11
3-2 いじめ対策	11
3-3 児童相談所 (PRU)	11
3-4 革新的なプロジェクトに対する資金提供	11
3-5 反社会的な行動に取り組むパイロットプロジェクト	12
3-6 学校のセキュリティ	12
4. ドイツにおける学校暴力事件とその対応	13
4-1 反暴力ネットワークの確立	13
4-2 学校の開放	14
4-3 教師のためのそれ以上の訓練	14
4-4 教師への援助	14
4-5 文化交流教育	14
II. 海外の学校防犯に関する取り組み及び対策	15
1. 学校防犯に関する計画の策定	15
1-1 計画の目的・目標	15
1-1-1 総合的学校安全計画の目標	15
1-1-2 安全で生徒全員に配慮の行き届いた学校にするために	16
1-1-3 暴力予防・対応計画策定の取組方針	18
1-1-4 セキュリティニーズの組み込み	18
1-1-5 学校における脅威の管理	18

1-1-5	学校を安全にするために必要なこと	20
1-2	計画の概要	20
1-2-1	カリフォルニア州における学校安全計画の作成状況	20
1-2-2	暴力予防カリキュラム	21
1-2-3	家庭学校連帯活動－「家庭と学校が一緒に」(Family and School Together)	22
1-2-4	「衝突解決」のための実施計画 (Conflict Resolution Programs)	23
1-2-5	「仲間による和解」実施計画 (Peer Mediation Programs)	23
1-2-6	「平和形成」実施計画 (Peace Building Programs)	24
1-2-7	「怒りの管理」実施計画 (Anger Management Programs)	24
1-2-8	「いじめ予防」実施計画(Bullying Prevention Programs)	24
1-2-9	安全手順のマニュアル化	25
1-2-10	危機管理計画	25
1-3	兆候の評価	26
1-3-1	初期の注意信号とは	26
1-3-2	初期の注意信号を認識するための5原則	27
1-3-3	子供に初期の注意信号を認識したとき、どうすればよいのか	28
1-3-4	初期の注意信号の種類	29
1-3-5	切迫した注意信号の認識と対応	31
1-3-6	脅威とは何か	32
1-3-7	脅威の形態	33
1-3-8	脅威評価とは	33
1-3-9	脅威評価に当たっての諸要素	33
1-3-10	リスクのレベル	34
1-3-11	四側面型評価モデル	35
1-3-12	脅威の判断基準	38
2.	学校防犯対策の概要	39
2-1	対策の実施にあたって	39
2-1-1	指導・介入(補導)の基本原則	39
2-1-2	予防・対応計画の展開	39
2-1-3	初期の注意信号を指導・介入手順の作成に利用する	40
2-1	対策組織	40
2-1-1	都市警察官	40
2-1-2	学校の組織的対応	41
2-1-3	予防・対応チームの編成	41
2-2	設備上の対策	42
2-2-1	防犯設備の設置	42

2-2-2	CCTV カメラ	43
2-2-3	安全な物理的環境の確保	44
2-3	警備上の対策	45
2-3-1	制服警察官の配置	45
2-3-2	学区警察官	45
2-3-3	都市警察官／スクール・リソース・オフィサー	46
2-3-4	非警察の契約警備員及び学内警備員	47
2-3-5	監視	48
2-4	規則・規律	48
2-4-1	ゼロ・トレランス方針	48
2-4-2	訪問者の登録	48
2-4-3	服装規定 (Dress Codes)	49
2-4-4	集会の禁止	50
2-4-5	責任ある行動を支援する全校方針	50
2-5	緊急時対策	51
2-5-1	危機対応の基本原則	51
2-5-2	危機の発生中に行う安全確保のための指導	52
2-5-3	危機管理計画	53
2-5-4	危機対応手順のチェックリスト	53
2-5-5	無差別テロへの対応	53
2-6	危機終結後の対応	54
3	学校防犯に関する計画及び対策の評価	55
3-1	評価システム	55
3-1-1	シミュレーション	55
3-1-2	カリフォルニア州における学校安全計画の評価	55
3-1-3	学校犯罪予防実施計画の評価	55
3-1-4	「衝突解決」のための実施計画 (Conflict Resolution Programs)	56
3-1-5	学校暴力予防のための実施計画	56
3-1-6	暴力的行動が生ずる背景の分析	56
3-2	是正・改善	57
3-2-1	薬物乱用に対する抵抗教育の見直し	57
4	学校防犯維持のための仕組み	58
4-1	行政・司法等の支援	58
4-1-1	司法関係者の参加	58
4-1-2	学校における薬物・犯罪予防のための資金計画	58
4-1-3	安全で薬物ゼロの学校とコミュニティ 1994 年法 (Title IV)	60

4-1-4	学校警察とパートナーシップ 1998 年法.....	60
4-1-5	「衝突解決及び仲間による和解」交付金.....	61
4-1-6	ハイリスク少年の教育と公共安全	61
4-1-7	「21 世紀コミュニティ学習センター」実施計画	61
4-1-8	「非行集団による危害防止」実施計画	61
4-1-9	「非行集団犯罪と暴力を予防するパートナーシップ」実施計画.....	62
4-1-10	「卒業後教育及び安全近隣パートナーシップ」実施計画.....	62
4-1-11	学校出席改善法等	62
4-1-12	カリフォルニア州の学校セキュリティ予算と体制.....	63
4-1-13	「コミュニティ支援警察活動」交付金	65
4-1-14	学校暴力予防のための実施計画.....	65
4-1-15	暴力予防計画とカリキュラム.....	66
4-1-16	学区への交付金.....	66
4-1-17	学校における薬物・犯罪予防のための資金計画.....	67
4-2	防犯教育・訓練.....	67
4-2-1	早期指導活動の実施項目例	67
4-2-2	学区警察官及び非警察警備員の訓練.....	68
4-2-3	非行集団に対する抵抗教育訓練 (Gang Resistance Education and Training) 70	
4-2-4	薬物乱用に対する抵抗教育 (Drug Abuse Resistance Education).....	71
4-2-5	「生活の技術」訓練 (Life Skills Training)	72
4-2-6	教師等の訓練	72
4-2-7	個別指導・介入.....	73
4-2-8	学校暴力予防のための訓練	73
4-2-9	暴力予防カリキュラムで教える	74
4-3	リスクコミュニケーション.....	74
4-3-1	最新情報の公表.....	74
4-3-2	コミュニティの連携	74
おわりに	75